



J・S（ミクロ経済学B）



T A／S Aをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続ですが、受講生時代の担当SAの方々と親しくさせていただいていたのが最初のきっかけです。

T A／S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

今期は去年と比べて受講生の減りをあまり体感しませんでした。

T A／S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

講義や質問受付という形で人に教える、伝えるということをしてきました。その中で話の組み立て方や、メリハリのつけ方がわかるようになったと思っています。また、大人数の前で講義をすることで、度胸も少しはついたと思います。

T A／S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

普段の授業やアルバイトなどの活動のサイクルにコアセッションとその準備が加わります。なのでもちろん忙しくなりますが、それ以上にいいことも多いです。大勢の人前で話すことはなかなかできないことです。それに加えて優秀で個性的な仲間ができる点もいいことだと思います。ぜひやってみてください。

担当教員やT A／S A仲間へのメッセージ

今期もミクロSAの人数は少ない状態でしたが、Y君がすばらしい働きを見せてくれて、私は楽をさせていただき感謝しかありません。先生方や他科目SAさん、支援室の皆様のおかげで今期も何事もなくSA活動を終えることができました。ありがとうございました。



M・Y（ミクロ経済学B）



T A／S Aをやってみようと思ったきっかけ

前学期やってみて、色々と学ぶことがありとても充実感があったので継続しました。

T A／S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

受講生の講義への意欲が非常に高かったこと。僕より厳密に内容を理解している方がいたので驚きました...（質問来てくれたのに上手く答えられなくてごめんね^^;）

T A／S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

難解な概念や複雑な解法の解説を通じて、物事を噛み砕いて分かりやすく説明する力がついたのではないかと思います。また、自身のミクロ経済学に対する体系的な理解も深まりました。

T A／S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

半学期という期間で得るものは大きいです。担当科目や話すのがあまり得意でなくても特に問題ないので、迷ったらチャレンジしてみることをオススメします。（因みに就活受けはとても良いですよ^^今から就活のエピソード作りたい3回生は是非！）

担当教員やT A／S A仲間へのメッセージ

様々な場面でサポートしてくださった支援室の職員の方々、井手先生、他SAの方、半学期ありがとうございました！

特に一緒に講義を担当したS君には、就活時に負担をかなり押し付けてしまったことに対するお詫びと、講義の準備の際多くのことを教えてくれたことに深く感謝申し上げます！



M・S（マクロ経済学B）



T A／S Aをやってみようと思ったきっかけ

先輩のお誘い

T A／S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

真面目な学生はあまりいないこと

T A／S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

マクロ経済学についての理解が深まった。先輩方に教わりつつ、コアセッションの目的にそって必要なことを考えることができた

T A／S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

学ぶ姿勢と積極性があれば誰でもできると思います

担当教員やT A／S A仲間へのメッセージ

半年間ありがとうございます、次もよろしくお願いします。



M・S (マクロ経済学B)



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続で務めさせていただきました。

学習内容を少しでも身近に感じて、勉強しやすくなっただけたらと思い、今期も立候補いたしました。

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初めて中間アンケートを実施しましたが、分かりやすいという声をいただいたこと！

鈴木先生が今期かなりごちそうしてくださったこと（ありがとうございます）

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

受講生の頃と比較してはもちろん、SAを始めた頃よりも、学習内容に対する深い理解を得ようとする姿勢を持つことができるようになりました。

今期は特に、勉強熱心な後輩のおかげで、私も刺激を受けました。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAって大変そう、面倒そう…というイメージはあるかもしれませんが、最近では、過去の授業資料などを参考にできる環境にあり、SA経験のある人がいる割合も高いので、それほど不安なく業務ができるのではないかと思います。

受講生の前で講義をすることや、質問に答えたりすることで、本当に貴重な経験ができますし、力も身に付くと思います。話のネタにもなります！

今しかない大学生活ですので、是非この経験をしていただきたいです。

支援室の方々や、先生のサポートも手厚いので、安心して活動できます！

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

鈴木先生、田島先生、学習教育支援室の皆様、今期も本当にお世話になりました。

学習スペースなどの環境整備に尽力くださっていることを、今期は特に身に染みて感じました。様々な要望にも応えてくださり、ありがとうございます。

またよろしく願いいたします。



K・S（マクロ経済学B）



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初回到今年少ないな、って思ったことが印象的です。

あとは、ハーゲンダッツをたくさんおごってもらったことです笑
励みになりました。ありがとうございました。

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

受講生の方により理解してもらうために、言葉を噛み砕くことを意識して話していました。わかりやすく伝えるという部分で成長できていたら嬉しいなと思います。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

あんまり理解できないまま試験受けたし、人に教えるなんて無理…と思われる方もいると思います。私も最初はそう思っていたのですが、先生にお聞きしたりSA同士で話し合ったりなど、改めて理解できる場はたくさんあります。なので気負わず挑戦してみてください！

質問などがあれば是非お声掛けください^^

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

おつかれさまでしたー！

新人さん二人ともすごくよく勉強してくれていて頼もしかったです。同
回生も前回に引き続いて本当にありがとうございました～～

先生方、学習支援室の皆様も大変お世話になりました！ありがとうございました^^



T・F (マクロ経済学B)



T A / S Aをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。初めは純粋に貴重な経験を積んでみたいと思ったからです。

T A / S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

買い物しているときやトレセンで受講生から声を掛けられた事がありました。道半ばのSAですが、こうして話しかけてくれる人がいるのがありがたいです。

T A / S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

洞察力です。講義の目的を考え抜き実践する力がつきました。教壇に立つ上で最も重要なのは、受講生がテストで点を取り、卒業後に覚えた知識を素早く取り出して活用出来る事だと思います。専門的な知識をマニアックに解説するだけでは意味がありません。その為、どうしたら直感的に知識を理解して貰うかを考え、解説時には専門用語や難しい数式を極力身近な例えで表現する事を工夫し、話すタイミングまで考え抜きました。こうした察する力が就職活動でESを書くときや面接で活かされました。

T A / S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

コアセッションの業務はハードルが高そうなイメージの反面、担当教員やSAの手厚いサポートがあり、人前に出た経験が少なくても躊躇する必要はありません。私自身も、ゼミや語学でお世話になった富田教授や野瀬教授の講義をベースに、同じ教室の担当だった先輩の的確な意見を取り入れて上達していきました。勿論、スライドの工夫や受講生に対する洞察力が求められますが、そこで腕を磨いていける喜びも大きな仕事です。少しでも興味がわいた方は、臆せず挑戦してみてください。

担当教員やT A / S A仲間へのメッセージ

やすお！ いつもアイスありがとな！



T・H (マクロ経済学B)



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

自分自身が受講生の時に、お世話になったため。

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

受講生の方が、本講義の単位取得の報告をして下さったこと。

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

問題に応じて、一番押さえるべきことやエッセンスは何かということ、意識して講義を行ったことだと思います。

コアセッションの講義では、少人数で行うゼミナールとは異なり、場合によっては数百人の学生を前に講義を行います。従って、知識や理解の個人差が大きい場合があり、エッセンスを受講生の方にしっかりと理解して頂けるようにスライドや解説方法を工夫しました。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

TA・SAとして同じ学生の前で講義を行うことができるのは、非常に貴重で有意義な経験になると思います。迷われている方は是非挑戦してみてくださいをお勧めします。

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

有難うございました。今後ともよろしくお願いします。



T・N（マクロ経済学B）



T A／S Aをやってみようと思ったきっかけ

以前よりコアセッションが単位の取得やコア科目の本講義の内容の理解の助けとなっていたのでSAに興味を持っており、説明会で詳しく授業準備や流れを説明していただけたから。

T A／S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

中間試験の結果が七割だと伺い、まだまだ内容を伝えきれていなかったのかと思いました。

T A／S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

私はこれまで緊張に弱く、大勢の前で話すことがとても苦手でした。しかしSAになり毎週受講生の前で話すことで克服し、ゼミなどでの発表にも生かせるようになりました。さらに毎週資料を作ることでパワーポイントの扱いにも慣れ、プレゼンなどがあったときにも積極的に活用でき、より分かりやすいような発表ができているような気がします。

T A／S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

担当の先生と先輩方が優しく指導してくださり、前年度の資料などのバックアップもあるので初めての方でも取り組みやすいです。また教える立場になることで今までより担当科目について理解が深まります。授業の準備については課目によってまちまちではありますが長時間にはならないです。ただ授業当日は準備のため直前の一コマを開ける必要があります。

担当教員やT A／S A仲間へのメッセージ

半年の間お世話になりました。初めてだったので至らぬ点もあったと思いますが、ご指導くださりありがとうございました。また来学期もよろしくお願いします。



S・T (統計学A)



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

得田先生のお誘いです。色々な授業でお世話になっており、ゼミにも入った縁もあります。

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

S先輩の当日の授業の欠席により自分が一人で授業を回すことになった時です。

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

大勢の人の前で話すことが、以前より緊張せずにできるようになりました。授業中に冗談も言えるくらいに成長した。

講師という立場を経験させていただいたことで、他の学部の授業の先生の話し方を観察するなど、普段受講している授業を多角的な視点で見れるようになった。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

前で喋っていたSAの方の話がわかりにくいなと感じていたら、ぜひあなたがSAになって教えてみてはいかがでしょうか？

意外と思っているより難しいかもしれませんよ？サポートしてくれる先輩が多数在籍しているので安心した環境で挑戦してみてください！

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

～関わってくれた皆さんへ～

自分を受け入れてくださり、ありがとうございました。

特に得田先生の良い意味での「放任主義」は母親に似ていてとても居心地よく毎回のSAに集中することができました。

自分にはまだまだ足りないものが多いので、成長する姿を見せれるようにこれからも学生生活に精進していきたいと思っています。

繰り返しになりますが、ありがとうございました。



A・Y (統計学A)



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

元々統計学が大の苦手でしたが、魅力に気づき苦手を克服するどころか面白さにハマっていききました。その魅力を多くの生徒に伝えることで統計学を敬遠する生徒が減ればと思い、SAをやってみようと思いました。

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

質問に来た生徒が分かりやすい説明だと言ってくれたこと

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

自分が今までインプットしてきた専門的な知識をアウトプットする能力がついたと思います。

経験から生み出される考え方、例えば自分の持つビジネス論や価値観などは、日常生活で話すと主観的なものであるため、それをアウトプットするときは比較的内容に責任を負う必要がそれほどあります。

専門的な知識、特に統計学なものの高さを客観的に説明する能力が身についたように思います。また、授業で話していた場合、聴者に誤解を生じることがあるため、丁寧に説明することが大切だと学びました。

このように、アウトプットする際には、自分の知識を正確に伝えることが重要です。また、相手の理解度を確認しながら進めることが必要だと学びました。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

「勉強を教える」というのは、実は「学ぶ」という行為と表裏一体です。教えることで自分自身も学び、成長することができます。

一方で、大学では「学問」が中心ですが、TA／SAでは「コミュニケーション」が中心です。両方を兼ね備えることが、今後の成長に大きく貢献します。

ここでしか見えない景色があります。ぜひ勇気を出して一歩前に踏み出してみてください。

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

お疲れ様でした！得田先生・SAの皆さんとコアセッションの運営ができ、とても楽しかったです。ありがとうございました。

得田先生・Sさんは秋学期もよろしくお願いいたします。



R・F (統計学A)



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

当時のSAさんに勧められたから

また就活で話せる1つになると考えたから

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

質問にきた人に理解してもらえて、感謝されたこと

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人前で話すことになれる。自分が抽象的に理解していたことを言語化することで統計学についてより理解することができた。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

準備は大変ですが、大学で授業をする経験は、今後できる機会がほとんどないと思うので挑戦してみてください。

また塾講師でアルバイトしていたというより、大学で授業してるという方がインパクトがあるので、就活で話せる1つになると思います。

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

半年間お疲れ様でした！



Y・S (統計学A/B)



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

統計学のSAだった方からSAに誘われてて、四回生になる直前にSA募集のチラシを見て挑戦してみようかなと思ってSAになりました。

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

今回は統計学A/Bの兼任ということで、毎週のスライドの作成などなかなか大変でした。しかし、他のSAや担当教員の力を借りてどうにかなったと思います。思えばこんなスリリングな経験も珍しいので楽しかったです。今年も受講生からの「ありがとうございました」という言葉には心救われました。

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

兼任だけでなく、セッションリーダーという立場も初めてでした（あまり意識してませんでした）。一応様々な資料（課題や小テスト）は一通り目を通していました。課題に関してはもう少し目を通しておけばよかったと後悔することもありました。今までは責任という言葉が嫌いで、責任ある立場というのも大嫌いでしたが、セッションリーダーになって、責任という言葉が少し好きになりました。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAになりたいと思っている人たちへ。SAという仕事は責任もあり忙しくないわけではないですけど、思っているよりも身近です。私自身統計学を専攻していますが、教えてて頭がこんがらがることがあります。そういう時は周りが助けてくれるし、そこに負い目を感じる必要はありません。なので気軽にSAに応募しましょう。

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

関係者の方たちには今年も多く迷惑をかけてしまいました。そんな僕にいつも母親のように接してくれた支援室の方や大濱先生に得田先生、本当にありがとうございました。共にコアセッションを切り盛りしたSA諸君も本当にありがとう。来期も縁があればよろしくお願いします。



Y・T (統計学B)



TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

自分が受講生だった頃のSAさんに誘ってもらったこと

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

教授の方々とお話しさせていただく機会が増えたこと、授業外でも受講生に声をかけてもらうことが増えたこと

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

今までたくさんの人の前で話したことなどなかった私が、SAとしての活動を通して、自信を持って、たくさんの受講生を前に授業をすることができるようになるまで成長できました。また、人に教えるという立場なので、自分の担当科目の知識をさらに深く理解しなければならなかったことで、SAを始める前よりもたくさんの知識を身に付けることにつながりました。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

私自身、自分にSAが務まるのかどうか不安な気持ちで臨みましたが、結果的に先輩方や同輩、担当の先生の支えがあって2年間続けることができました。わからないことや、はじめのうちはできないこともあるかもしれませんが、慣れてくるとやりがいを感じることもできます。少しでも興味がある方はやってみるべきだと思います。

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

担当の大濱先生、Sさん、他科目のSAのみなさんお世話になりました。楽しく授業することができました。今までありがとうございました。